

令和4年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日 時 令和4年11月17日(木)午後3時
場 所 大船渡市役所 教育委員会会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 協 議

協議第1号 令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

4 そ の 他

5 閉 会

協議第1号 令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について、大船渡市学校支援活動運営委員会設置要綱第2第2項の規定に基づき、意見を求めます。

令和4年11月17日

大船渡市学校支援活動運営委員会

委員長 鎌 田 慎

令和4年度英語スクール「英語体験教室」事業一覧表（令和4年10月31日現在）

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	6月25日(土) ①未就学児 9:30~10:30 ②小学校1~2年生 11:00~正午	英語に触れる活動(英会話・ゲーム・歌・ぬりえなど)	佐藤英会話 佐藤友紀氏 アイリスアバーケズ氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	22組44人 (①10組20人、 ②12組24人)	カメラiahall 多目的ホール
2	10月8日(土) ①未就学児 9:30~10:30 ②小学校1~2年生 11:00~正午	英語に触れる活動(英会話・ゲーム・歌・ぬりえなど)	佐藤英会話 ジュリアンアーノット氏 アイリスアバーケズ氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	16組33人 (①9組19人、 ②7組14人)	カメラiahall 多目的ホール

令和4年度英語スクール「英語体験教室」アンケート集計結果（令和4年10月31日現在）

成果指標(全2回の合計値)	目標	実績	達成率	
定員に対する参加率	80.0%	110.0%	137.5%	○事業参加者数 77人 ○アンケート回収数 77通 (回収率 100%) ○講座ごとの内訳 第1回 参加 22組 44人 (定員 20組 40人) 第2回 参加 16組 33人 (定員 20組 40人)
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫」と回答した参加者の割合	50.0%	46.8%	93.6%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	84.5%	105.6%	

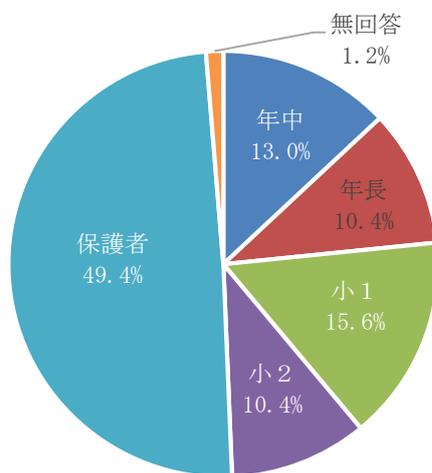
【総括】

- ・定員に対する参加率は 110.0%で、目標の 80.0%を大きく上回った。募集定員を上回る申込があり、抽選で参加者を決定したことから、市民の学習ニーズに合致した魅力ある教室を実施することができた。
- ・アンケート結果による保護者の参加理由については、「英語に興味を持っているから」と「生きた英語を学ぶ良い機会だから」が多く、「本人が行きたいと言ったから」との声もあった。
- ・アンケート結果による参加者の感想は、「とてもよかった」「よかった」と回答した人が 96.1%となり、満足いただけただけ講座となった。また、「自分から進んで取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」「まあまあできた」と回答した人は 84.5%となった。
- ・学習前後の変化として、子ども、保護者ともに「思い出ができた」「自分でできることが増えた」「アイデアを考えたり工夫したりできた」との回答が多かった。
- ・楽しかった内容は、ゲームやぬりえが多かった。「ほかの子どもと交流している場面が楽しそうだった」と回答した保護者もいた。
- ・「みんなでダンスをしたことや○×ゲームが楽しかった(子ども)」「学校ではなく、新たな環境で自分から関わることを体験できて良かった(保護者)」という当日を振り返っての感想に加え、「色々な動物の名前を英語で話せるようになりたい(子ども)」「生きた英語に触れさせていきたい(保護者)」という今後への意欲をうかがわせる感想も見られた。

- ・申込が定員を大幅に超過したが、定員枠を増やし、少しでも多くの参加者に体験の機会を提供することができた。
- ・コロナ渦のため触れ合う内容を制限したが、大多数に満足いただける結果となり、大変良かった。今後も学習を継続していきたいとの感想がいくつかあったことから、将来、学習を継続していくきっかけづくりにもなり、教室の時間以上の価値があったと考えられる。

Q 1. 参加者の学年

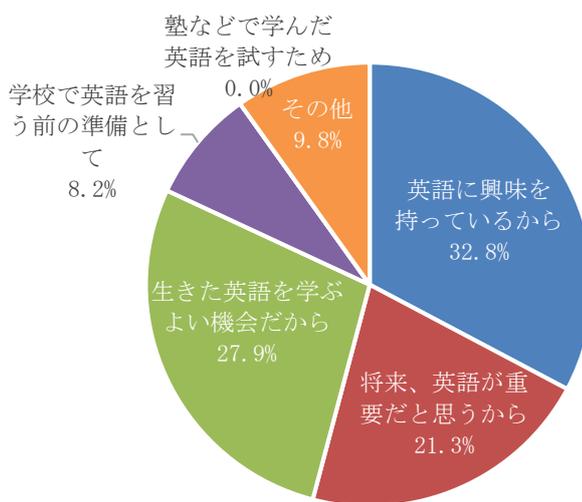
項目	人数	比率
年中	10	13.0%
年長	8	10.4%
小1	12	15.6%
小2	8	10.4%
保護者	38	49.4%
無回答	1	1.2%
計	77	100.0%



参加者は年中、年長、小学校1年生、2年生で平均的であった。

Q 2. 参加理由 (保護者回答)

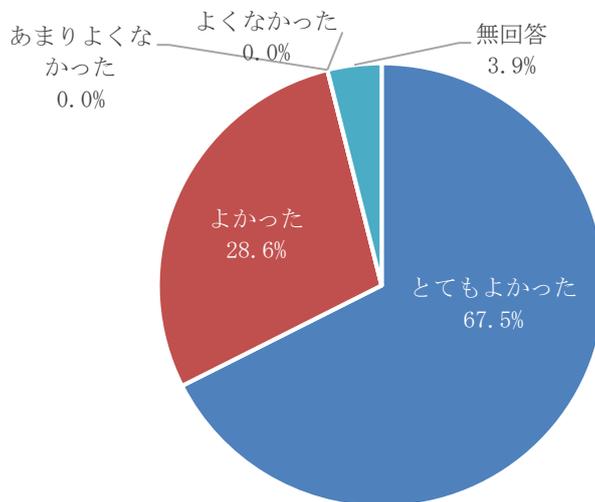
項目	人数	比率
英語に興味を持っていたことから	20	32.8%
将来、英語が重要だと思うから	13	21.3%
生きた英語を学ぶよい機会だから	17	27.9%
学校で英語を習う前の準備として	5	8.2%
塾などで学んだ英語を試すため	0	0.0%
その他	6	9.8%
計	61	100.0%



保護者からの参加理由については、「英語に興味を持っているから」と「生きた英語を学ぶよい機会だから」が多かった。

Q 3. 講座の感想

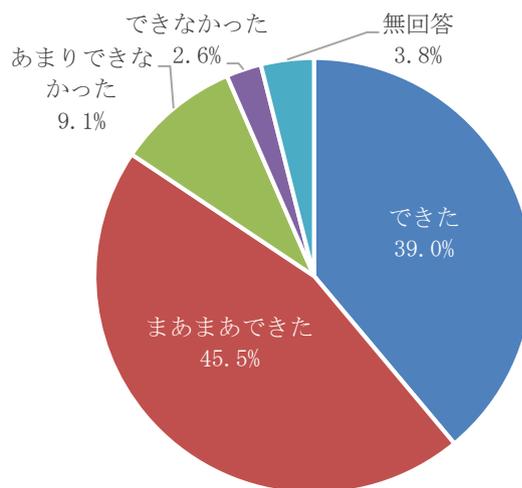
項目	人数	比率
とてもよかった	52	67.5%
よかった	22	28.6%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	3	3.9%
計	77	100.0%



参加者のほとんどが「とても良かった」、「良かった」と回答しており、満足度が高い結果となった。来年度以降も同様の成果が出せるよう学習内容を検討したい。

Q 4. 学習意欲

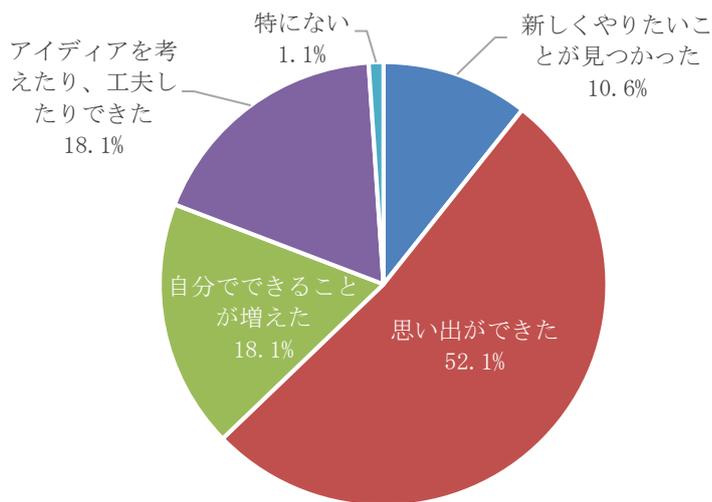
項目	人数	比率
意欲的に取り組むことができた	30	39.0%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	35	45.5%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	7	9.1%
意欲的に取り組むことができなかった	2	2.6%
無回答	3	3.8%
計	77	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した人の割合が84.5%となり、目標値である80%を上回ることができた。

Q 5. 講座に参加したことによる変化（複数回答可）

項目	人数	比率
新しくやりたいことが見つかった	10	10.6%
思い出ができた	49	52.1%
自分でできることがふえた	17	18.1%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	17	18.1%
特にない	1	1.1%
計	94	100.0%

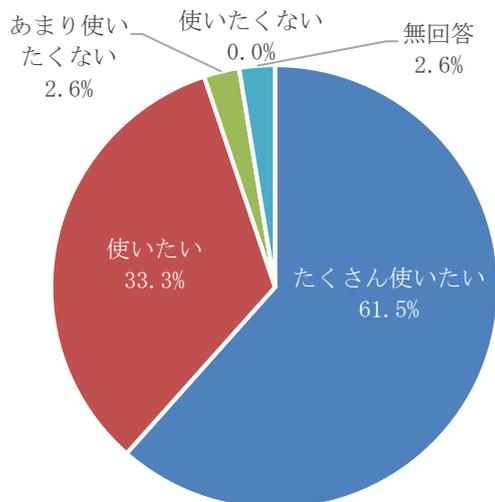


最も高い項目は「思い出ができた」で、次に「アイデアを考えたり、工夫したりできた」、
「自分でできることがふえた」だった。これからの時代を生き抜くための創造力や自主性の育成
に必要な要素となっている。

それらの項目を一定数の参加者が選択したことは、本事業の成果が表れたものと考えられる。

Q 6. 英語の使用（子ども回答）

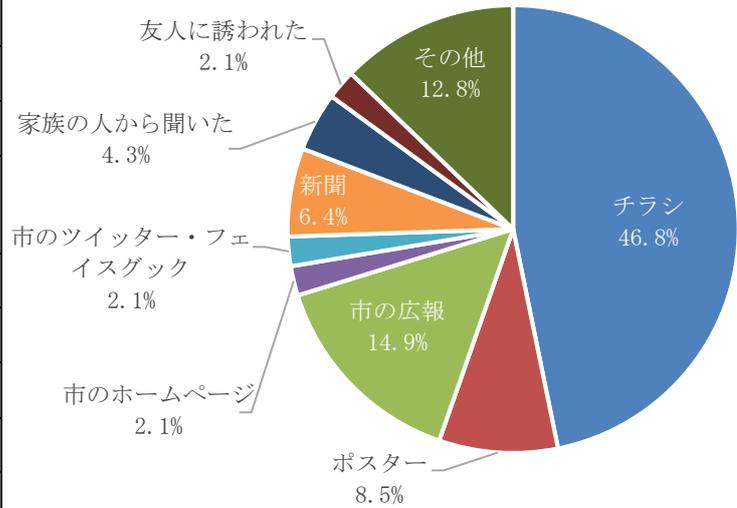
項目	人数	比率
たくさん使いたい	24	61.5%
使いたい	13	33.3%
あまり使いたくない	1	2.6%
使いたくない	0	0.0%
無回答	1	2.6%
計	77	100.0%



「たくさん使いたい」、「使いたい」と回答した人の割合が 94.8%となり、英語に対する興味
の表れと考えられる。

Q 7. 講座を何で知ったか(複数回答可)

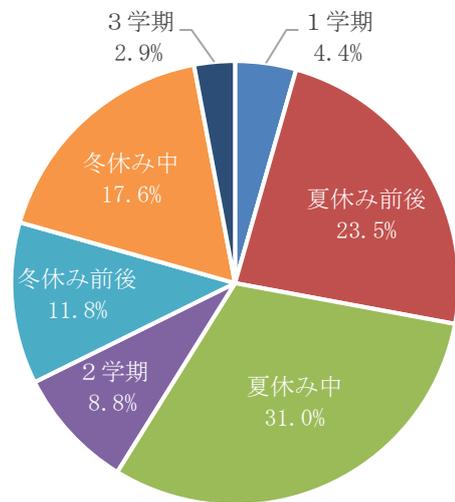
項目	陶芸	比率
チラシ	22	46.8%
ポスター	4	8.5%
市の広報	7	14.9%
市のホームページ	1	2.1%
市のツイッター・フェイスブック	1	2.1%
新聞	3	6.4%
家族から聞いた	2	4.3%
友人に誘われた	1	2.1%
その他	6	12.8%
計	47	100.0%



市内の小中学校を通じて、対象児童生徒全員にチラシを配布した。多くの参加者が「チラシ」を見ての応募であり、次年度も引き続き掲示施設等を精査していきたい。

Q 8. 講座に参加しやすい時期(複数回答可)

項目	陶芸	比率
1学期	3	4.4%
夏休み前後	16	23.5%
夏休み中	21	31.0%
2学期	6	8.8%
冬休み前後	8	11.8%
冬休み中	12	17.6%
3学期	2	2.9%
計	68	100.0%



半数以上が「夏休み中」や「冬休み中」の長期休み中を希望している。実施時期や学習内容などの調査結果を踏まえて、計画の立案に努めたい。

Q 9. 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

(1) 子ども

- ・楽しかった！！(年長、ほか5人)
- ・またあったらやりたいです。楽しかったです。(小2)
- ・おえかきがとても楽しかったです。(年中)
- ・少し英語を覚えたことがうれしかった。ありがとうございました。(小1)
- ・ドキドキしたけど、ゲームが楽しかった。先生がかわいかった。(年中)
- ・英語のおんていができてうれしかった。(小2)
- ・みんなでダンスをしたことや〇×ゲームが楽しかったです。(小2)
- ・楽しかった。もっと歌いたい。ぬりえをもっとしたい。(年長)
- ・またやりたい。(小1、ほか1人)
- ・また行きたいです。楽しかったです。(年長、ほか1人)
- ・難しかった。(小1)
- ・色んな動物の名前を英語で話せるようになりたい。
- ・ダンスがしたいです。(小1)
- ・自由に遊びたい。(小2)
- ・最初は恥ずかしかったけれど、最後には少し慣れました。(小2)
- ・やって良かったです。(小2)
- ・また参加したいと思った。学校とは違うお友達と学習できて良かった。(小1)
- ・クイズができて楽しかった。(年長)
- ・すっごく楽しかった！また来たい！！(年長)
- ・ダンスが楽しかった。(年中)
- ・もっとゲームしたかった。(年中)
- ・ほかにもゲームとかもやりたいです。(小2)

(2) 保護者

- ・学校ではなく、新たな環境で自分から関わることを体験できてよかった。静と動と両方の場面で子どもたちが主体的に楽しんでいてよかった。(小2保護者)
- ・英語って楽しいなと思いました。(小1保護者)
- ・初めて英語に触れ、楽しく学ぶことができました。家でも実践したいです。また参加したいです。(小1保護者)
- ・楽しく本物の英語に触れ合えることは大切なことだと感じた。機会があればまた参加したい。(小1保護者)
- ・恥ずかしがってほとんど動けませんでした、「楽しかった。また来ようね」と言っていて、良い機会になりました。(年中保護者)
- ・人見知りなので、なかなかみんなの輪に入ることができず…でも本当は英語がとても好きで、聞くときも英語で言えていたので、きちんと聞いていたことは良かったのかなと思います。(年中保護者)
- ・英語に触れる機会があると、もっと普段の会話にも英単語が増えるんだろうなと思いました。(小1保護者)

- ・大人しい子で、日本語でもはっきりしゃべれないのに、日本語よりずっとテンションの高い英語についていけるか心配でしたが、最後の方でやっと少し慣れてきた感じです。(小2保護者)
- ・生きた英語に触れさせていきたい。たくさん機会があれば良いし、作っていきたい。(小1保護者)
- ・簡単な英単語を日常生活で取り入れたい。(年中保護者)
- ・子どもに英語だけで会話する(先生や友人)機会を与えたいです。英語は家庭でやっているのでも、同じ年くらいの英語をしゃべることができる友人がほしいです。(年長保護者)
- ・反応がありすぎてすみません。そして、あまり話を聞いておらずすみません。(年長保護者)
- ・(今後やってみたいこととして)英語キャンプ?(年中保護者)
- ・学校のお友達以外の子とふれあうことや、ダンス!!がしたいです。(小1保護者)
- ・科学遊びもやってみたいです。(小1保護者)
- ・また英語スクールに参加したいです。(小1保護者)
- ・恥ずかしがる場面が多かったのですが、楽しそうに参加していました。また機会があれば参加したいです。(年中保護者)
- ・初め、恥ずかしさがあったけれど、子どもが積極的に取り組めたので、大きな声など出しやすくなった。(小1保護者)
- ・初めての英語でとまどっていましたが、楽しそうでした。親の英語があやしいです。(年中保護者)
- ・ありがとうございました。行く前まではヤル気がありましたが、緊張していたようです。(小1保護者)
- ・恥ずかしがって積極的に参加できず残念でした。(年中保護者)
- ・親子で本日やったようなやりとりを遊びながらやってみたい。(小1保護者)
- ・人見知りや緊張をするので、なるべく無理のない程度で、たくさんの人と触れ合っほしいです。(小2保護者)
- ・場に慣れるまで少し時間がかかることもあるので、もう少し長くやっていただけたらと思いました。(年長保護者)
- ・もっと英語に触れる機会があると親子共に嬉しい。英語教室がどんな所か知りたい。(小2保護者)

令和4年度 英語スクール「第1回英語体験教室」講座写真



令和4年度家庭教育学級実施一覧表(令和4年10月31日現在)

	学校名等	実施日	学習内容	講師	参加者数	場所	時間
幼・保	大船渡保育園	1月、2月、3月のいずれか	防災学習				
	未崎こども園	未定					
	あかさきこども園	10月5日(水)	講話「おなかげんききょうしつ」	大船渡ヤクルト販売株式会社 主事 木下 理映 氏	45人	あかさきこども園	10:00~10:50
	日頃市保育園	未定					
	綾里こども園	6月25日(土)	講話「おなかげんききょうしつ」	大船渡ヤクルト販売株式会社 主事 木下 理映 氏	53人	綾里こども園	10:30~11:15
一 中 学 区	盛小学校	12月1日(木)	ペアレンタルコントロール実習(仮)	一般社団法人トナリノ職員企画部 マネージャー 山本 健太 氏		盛小学校	14:00~15:30
	立根小学校	11月1日(火)	講話「メディアとの付き合い方と家庭での メディアルールの作り方」 実習「ペアレンタルコントロール実習」	一般社団法人トナリノ職員企画部 マネージャー 山本 健太 氏		立根小学校	13:10~15:35
	猪川小学校	12月1日(木)	講話「発達障がいの話」 ※リモート環境	岩手医科大学 いわてこどもケアセンター 主任臨床心理士 三浦 光子 氏		猪川小学校	18:30~19:30
	吉浜小学校	11月19日(土)	親子で学ぼうインターネット教室	ソフトバンク株式会社 磯崎 晴彦 氏		吉浜小学校	9:30~10:30
大 中 学 区	大船渡小学校	未定					
	大船渡北小学校						
	☆大船渡中学校						

☆=合同開催事務局

98人

令和4年度家庭教育学級アンケート集計結果（令和4年10月31日現在）

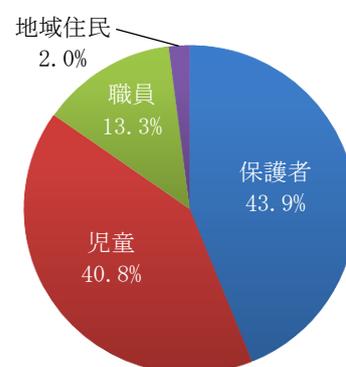
○実施箇所 市内こども園・小学校 2カ所（実施一覧表のとおり）

○参加人数 98人（うち保護者43人）

○アンケート回収数 42件（回収率97.7%）

成果指標	目標	実績	達成率
1カ所あたりの 前年度比参加人数 R3：85.8人 (515人/ 6カ所)	80.0%	49.0% (98人/ 2カ所)	57.1%
学習内容の満足度	80.0%	95.2%	119.0%
学習内容の家庭での 取組意欲	80.0%	95.2%	119.0%
学習内容の理解度	80.0%	97.6%	122.0%

参加者内訳	年代	人数	比率
	保護者	43	43.9%
	園児・児童	40	40.8%
	職員	13	13.3%
	地域住民	2	2.0%
計	98	100.0%	

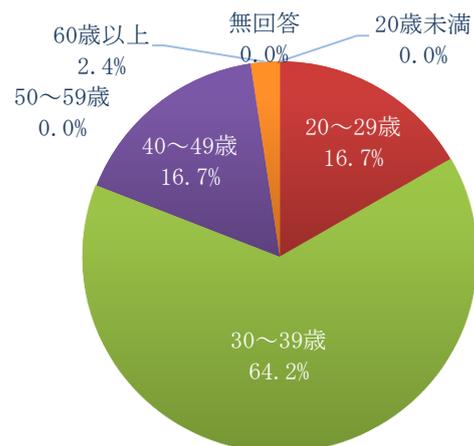


【総括】

- ・家庭教育学級開催事業の実施方法については、小学校、中学校及びこども園等（こども園、保育園、幼稚園）の保護者や教職員等を対象に、小学校及び中学校は毎年、こども園等は3年に1回の頻度で実施していたが、令和4年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響で行事等の日程調整及び事業実施が困難な事例の増加並びにかねてから要望があった小学校及び中学校の負担軽減を踏まえ、小学校及び中学校も3年に1回の頻度で実施することとなった。
- ・今年度の予定については、現時点において、概ね実施する予定となっている。3年に1回実施の効果が出ているものとする。
- ・1カ所あたりの前年度比参加人数は、目標を下回っているが、学習内容の満足度、取組意欲及び理解度は、目標を上回っている。参加人数も目標に近づくものとする。

Q 1. 参加者の年齢

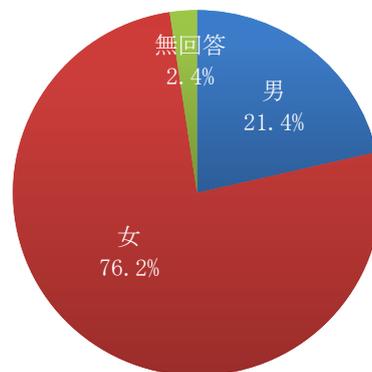
年代	人数	比率
20歳未満	0	0.0%
20～29歳	7	16.7%
30～39歳	27	64.2%
40～49歳	7	16.7%
50～59歳	0	0.0%
60歳以上	1	2.4%
無回答	0	0.0%
計	42	100.0%



こども園での講座を実施したため、20～40代の参加が多くなった。

Q 2. 参加者の性別

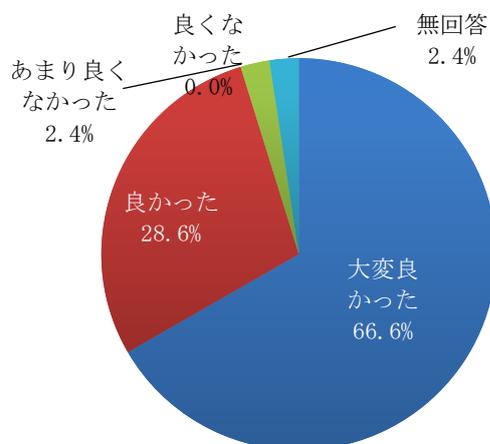
性別	人数	比率
男	9	21.4%
女	32	76.2%
無回答	1	2.4%
計	42	100.0%



参加者の7割以上は女性であり、例年同様、男性の参加が少ない状態である。

Q 3. 学級に参加した感想（満足度）

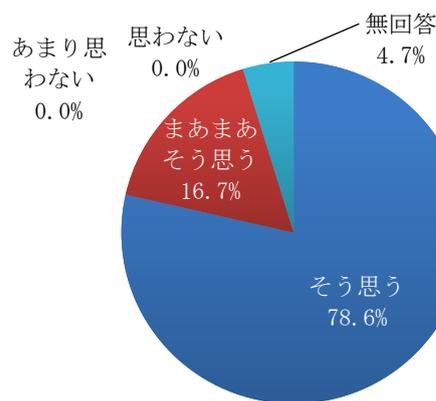
評価	人数	比率
大変良かった	28	66.6%
良かった	12	28.6%
あまり良くなかった	1	2.4%
良くなかった	0	0.0%
無回答	1	2.4%
計	42	100.0%



「大変良かった」、「良かった」と答えた人の割合は95.3%で、目標値の80.0%を上回っている。

Q 4. 学習内容への取組意欲

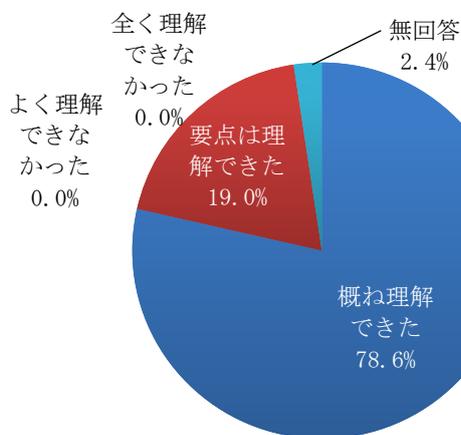
取組意欲	人数	比率
そう思う	33	78.6%
まあまあそう思う	7	16.7%
あまり思わない	0	0.0%
思わない	0	0.0%
無回答	2	4.7%
計	42	100.0%



今回の学習内容について、95.3%の方が家庭で取り組む意欲があると回答している。

Q 5. 内容の理解度

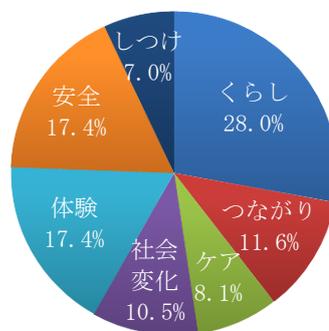
理解度	人数	比率
概ね理解できた	33	78.6%
要点は理解できた	8	19.0%
よく理解できなかった	0	0.0%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	2.4%
計	42	100.0%



97.6%の方が学習内容を理解できたと回答している。

Q 6. 家庭教育学級で希望するテーマ（複数回答可）

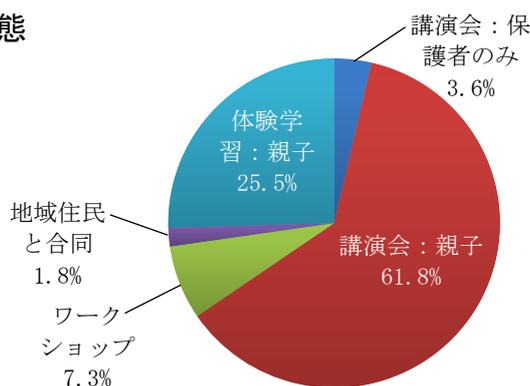
希望テーマ	人数	比率
暮らし	24	28.0%
つながり	10	11.6%
ケア	7	8.1%
社会変化	9	10.5%
体験	15	17.4%
安全	15	17.4%
しつけ	6	7.0%
計	86	100.0%



スマホやSNS等の情報化への対応等社会変化をテーマにした内容や、いじめや不登校へのケアをテーマにした内容を希望する声が多い。

Q 7. 家庭教育学級で希望する学習形態

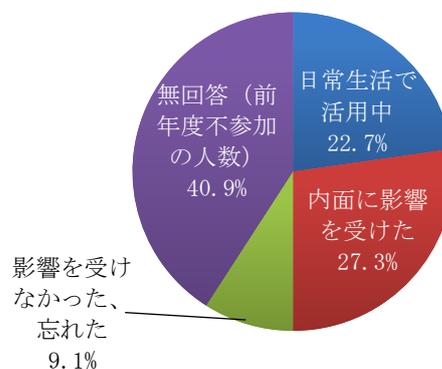
学習形態	人数	比率
講演会：保護者のみ	2	3.6%
講演会：親子	34	61.8%
ワークショップ	4	7.3%
地域住民と合同	1	1.8%
体験学習：親子	14	25.5%
計	55	100.0%



講演会や体験学習等親子での学習形態を希望する方が 87.3% と多くなっている。

Q 8. 学習内容の生活への影響度

影響	人数	比率
日常生活で活用中	5	22.7%
内面に影響を受けた	6	27.3%
影響を受けなかった、忘れた	2	9.1%
無回答（前年度不参加の人数）	9	40.9%
計	22	100.0%

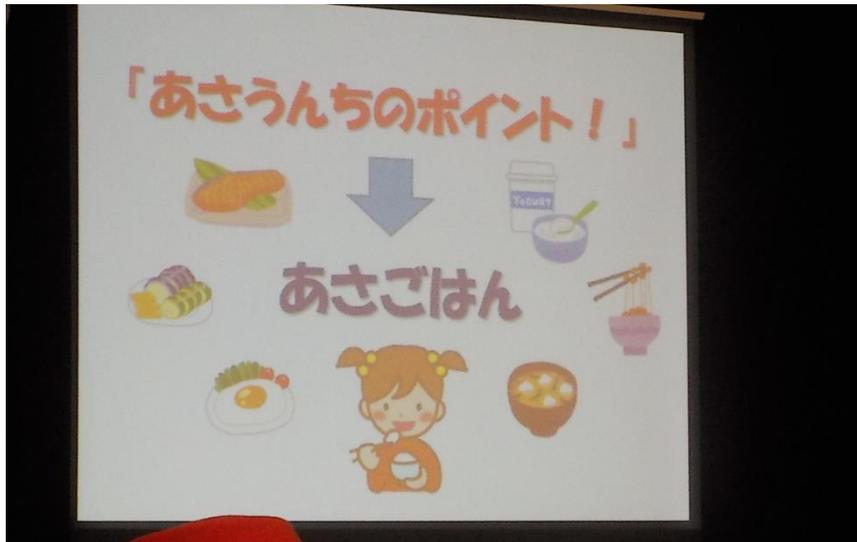


無回答（前年度不参加の人数）を除くと、多くの方が「日常生活で活用中」または「内面に影響を受けた」と回答している。

Q 9. 自由記載(抜粋)

- ・いろいろと話を聞いてよかったです。
- ・子供にも分かりやすい内容でよかったと思う。
- ・今回のテーマを家庭へ取り入れたいです。
- ・健康管理のうえで役立つ情報、ありがとうございました。
- ・子供たちが楽しいお話を聞いていたのでよかったと思います。ありがとうございました。
- ・今まで、うんちの質など考えた事がなかった子が、うんちをすること、よいうんちをすることに興味を持ってくれるとよいなと思いました。
- ・最近、便秘がちで困っていたところ、今回の講演を聞いて学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。
- ・実際におなかによいメニューなどが知りたかった。
- ・スポーツや体力づくりに関するテーマだと嬉しいです。

令和4年度 綾里地区家庭教育学級（綾里こども園）講座写真



令和4年度青少年体験学習事業事業一覧表（令和4年10月31日現在）

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	7月3日（日） ①10：00～ ②14：00～	陶芸体験学習	三陸町陶友会会員	10組20人 （①午前：5組10名、 ②午後：5組10名）	12組28人 （①午前：6組14人、 ②午後：6組14人）	三陸公民館

令和4年度青少年体験学習事業アンケート集計結果（令和4年10月31日現在）

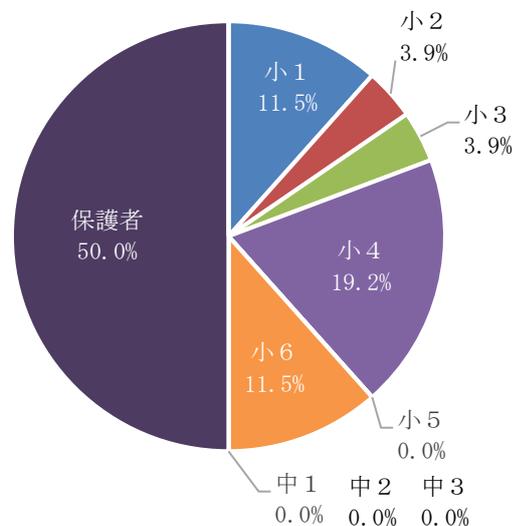
成果指標（全2回の合計値）	目標	実績	達成率	○事業参加者数 28人 ○アンケート回収数 26通 （回収率 92.9%）
定員に対する参加率	80.0%	140.0%	175.0%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫」と回答した参加者の割合	50.0%	59.4%	118.8%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	96.1%	120.1%	

【総括】

- ・定員に対する参加率は140.0%で、目標の80.0%を大きく上回った。募集定員を上回る申込があり、抽選で参加者を決定したことから、市民の学習ニーズに合致した魅力ある教室を実施することができたと考える。
- ・アンケート結果による参加者の感想は、「とてもよかった」「よかった」と回答した人が100%となり、全員に満足いただけた講座となった。また、子どもへの「自分から進んで取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」「まあまあできた」と回答した人は92.3%、保護者への「意欲的に学習に取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」「まあまあできた」と回答した人は100%となった。学校や家庭では体験できない分野の体験機会を提供できたものと窺える。
- ・学習前後の変化として、子ども、保護者ともに「思い出ができた」「アイデアを考えたり工夫したりできた」との回答が多かった。「最初は難しかったけど楽しかった」（子ども）「丁寧に教えていただいたので満足できる仕上がりになった」（保護者）等「参加してよかった」との感想が多く寄せられた。また、「これを作って売るのがすごいと思った」（子ども）「娘のほうが自由な作品を作っていて驚いた」（保護者）との新たな発見をした参加者もいた。
- ・申込が定員を大幅に超過したが、定員枠を増やし、少しでも多くの参加者に体験の機会を提供することができた。
- ・講師の方々に、参加者の作りたい気持ちを尊重しながら対応いただいたことから、参加者全員に満足いただけた講座となった。

Q 1. 参加者の学年

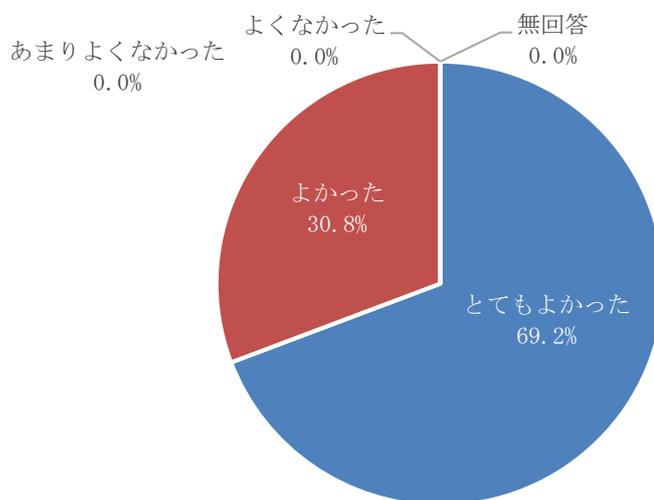
項目	陶芸	比率
小1	3	11.5%
小2	1	3.9%
小3	1	3.9%
小4	5	19.2%
小5	0	0.0%
小6	3	11.5%
中1	0	0.0%
中2	0	0.0%
中3	0	0.0%
保護者	13	50.0%
無回答	0	0.0%
計	26	100.0%



小中学生及び保護者を対象に参加者の募集を行ったが、参加者の多くは小学生で、中学生は1人のみの参加となったことから、中学生の学習ニーズと合致した体験学習も併せて提供できるよう努めたい。

Q 2. 講座の感想

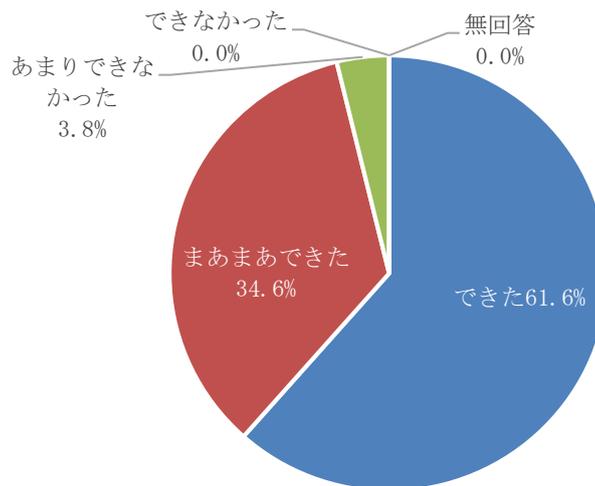
項目	陶芸	比率
とてもよかった	18	69.2%
よかった	8	30.8%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	26	100.0%



参加者全員が「とても良かった」「良かった」と回答しており、満足度が高い結果となった。来年度以降も同様の成果が出せるよう学習内容を検討したい。

Q 3. 学習意欲

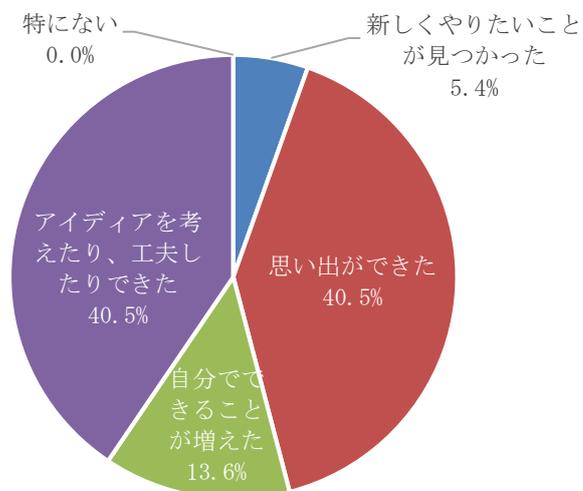
項目	陶芸	比率
意欲的に取り組むことができた	16	61.6%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	9	34.6%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	1	3.8%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	26	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合が 100.0%となり、目標値である 80%を上回ることができた。

Q 4. 講座に参加したことによる変化（複数回答可）

項目	陶芸	比率
新しくやりたいことが見つかった	2	5.4%
思い出ができた	15	40.5%
自分でできることがふえた	5	13.6%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	15	40.5%
特にない	0	0.0%
計	37	100.0%

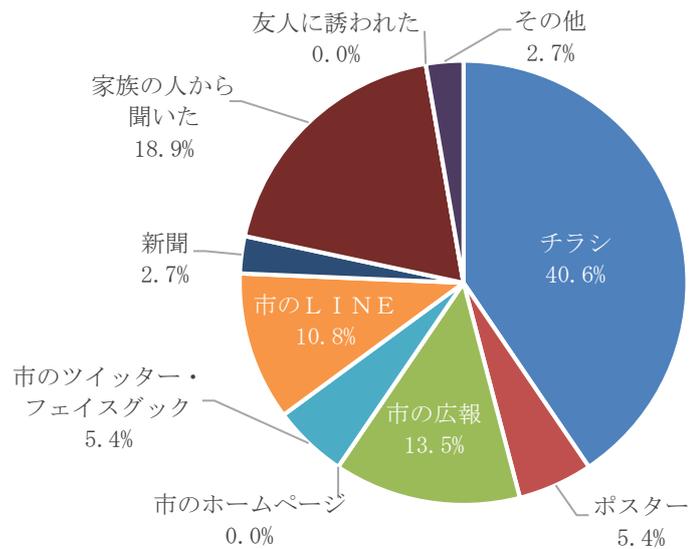


最も高い項目は「思い出ができた」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」「自分でできることがふえた」だった。これらは「自分でできることがふえた」と合わせて、これからの時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となっている。

それらの項目を一定数の参加者が選択したことは、本事業の成果が表れたものと考えられる。

Q 5. 講座を何で知ったか(複数回答可)

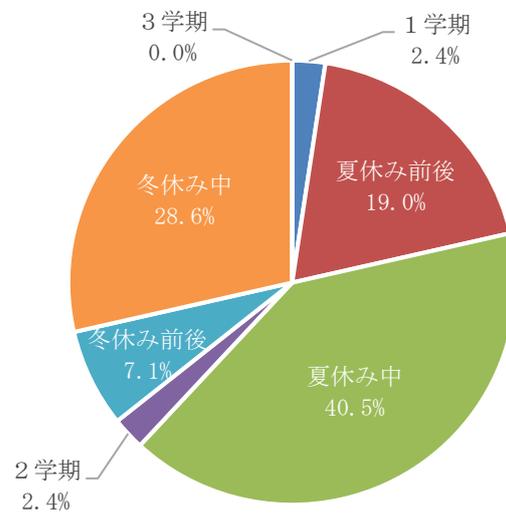
項目	陶芸	比率
チラシ	15	40.6%
ポスター	2	5.4%
市の広報	5	13.5%
市のホームページ	0	0.0%
市のツイッター・フェイスブック	2	5.4%
市のLINE	4	10.8%
新聞	1	2.7%
家族から聞いた	7	18.9%
友人に誘われた	0	0.0%
その他	1	2.7%
計	23	100.0%



市内の小中学校を通じて、対象児童生徒全員にチラシを配布した。多くの参加者が「チラシ・ポスター」を見ての応募であり、次年度も引き続き掲示施設等を精査していきたい。

Q 6. 講座に参加しやすい時期(複数回答可)

項目	陶芸	比率
1学期	1	2.4%
夏休み前後	8	19.0%
夏休み中	17	40.5%
2学期	1	2.4%
冬休み前後	3	7.1%
冬休み中	12	28.6%
3学期	0	0.0%
計	37	100.0%



半数以上が「夏休み中」や「冬休み中」の長期休み中を希望している。実施時期や学習内容などの調査結果を踏まえて、計画の立案に努めたい。

Q 7. 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

(1) 子ども

- ・ 最初は難しかったけど楽しかったです。(小6)
- ・ 分かりやすく教えていただいたので、上手にできました。(小6)
- ・ 作るのがすごく難しいなと思いました。これを作って売るのがすごいなと思った。(小6)
- ・ 難しそうだったけど、意外と簡単でびっくりしました。(小4)
- ・ コップをいっぱい作りたい。(小1)
- ・ 次またあったらやりたいし、またいろいろ作りたいです。(小4)
- ・ 人形とか作ってみたい！(小4)
- ・ (今後やってみたいこととして) 自分で絵を塗ること。短冊を作りたい。(小4)

(2) 保護者

- ・ 初めての体験でしたが、とても楽しかったです。また参加したいです。(小2保護者)
- ・ とても夢中になりました。教えてくださった先生が工夫したい気持ちを引き出してくれました。出来上がりが楽しみです。ありがとうございました。(小4保護者)
- ・ かなり先生に手伝っていただき、立派な作品が出来ました。ありがとうございました！！手のかかる親でした。娘の方が欲望のままに自由な作品を作っていて、ビックリしました。三陸町陶友会の先生方、とても優しく教えていただきありがとうございました。くじけず頑張りました。(頑張れました。)(小4保護者)
- ・ とても集中して作ることができ、とても楽しんで作ることができました。(小1保護者)
- ・ 楽しかった。(小6保護者)
- ・ 初めて陶芸に参加しましたが、とても難しかったです。でも、丁寧に教えていただいたので、満足できる仕上がりになりました。ありがとうございました。(小4保護者)
- ・ 楽しく作品を作ることができて良かったです。(小6保護者)
- ・ もう少し時間が欲しいと思いました。ろくろがもう一つ欲しいと思いました。(待ってるようなので)(小6保護者)
- ・ (他にやってみたいこととして) 絵を描く。何か作る！(小4保護者)

令和4年度青少年体験学習事業「陶芸体験学習」講座写真



○令和4年度スクールガード配置事業

スクールガード：11校に36人配置

- ① 引率型：盛小6人、大船渡小4人、末崎小2人、大船渡北小4人、綾里小3人、吉浜小7人
- ② 通学路巡回型：末崎小1人、赤崎小1人、猪川小1人、立根小2人、日頃市小1人、大船渡中3人
- ③ スクールバス添乗型：赤崎小1人

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	10校	29人	3～17日	487時間45分	16時間49分/人
5月	10校	28人	3～19日	550時間30分	19時間40分/人
6月	10校	30人	3～22日	699時間45分	23時間20分/人
7月	10校	29人	3～16日	468時間45分	16時間10分/人
8月	10校	29人	2～10日	319時間45分	11時間01分/人
9月	10校	32人	1～20日	643時間15分	20時間06分/人
10月	11校	34人	2～20日	703時間45分	20時間42分/人
計				3873時間30分	18時間15分/人

〔取組状況〕

- ・児童生徒の登下校時の安全を確保するため、市内小学校10校と中学校1校(計11校)にスクールガード36人を配置した。
- ・各校の状況に応じ、引率型、巡回型、スクールバス添乗型により実施した。
- ・学校からスクールガード募集の希望があり、市広報紙(5月9日号)により下記のとおり募集した結果、記事を見て募集した方から新たな人材を確保することができた。

小学校区	内容	人数	備考
大船渡北小学校区	登下校の引率	2人	
末崎小学校区	登下校の引率(朝のみ)	2人	一般県道基石海岸線沿い
赤崎小学校区	登下校の引率	1人	蛸ノ浦方面
日頃市小学校区	通学路を車で巡回	2人	

※ 募集の結果、大船渡北小学校区に1人配置。

〔今後の取組〕

- ・標記事業の状況を把握するため、スクールガード及びスクールガード配置校の保護者を対象としたアンケート調査を実施。(令和5年1月予定)
- ※ スクールガードの認知度、継続について、登下校の安全が保たれているか等

引率型スクールガード(盛小学校)



交差点などに立ち、子ども達が車道側にはみ出ないように誘導。



子ども達が横断歩道を通る際、安全に通れるように、車道と横断歩道の間立って誘導。

○令和4年度学校支援事業

地域コーディネーター：6校に5人、生涯学習課に1人配置

(配置校：末崎小、赤崎小、立根小、日頃市小、吉浜小、東朋中)

※複数校兼務するコーディネーターがいるため、総数と異なる

【配置校】

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	4校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
5月	4校	1人	1日	3時間00分	3時間00分/人
6月	4校	1人	4日	7時間00分	7時間00分/人
7月	5校	3人	1～3日	6時間45分	2時間15分/人
8月	5校	2人	1日	2時間30分	1時間15分/人
9月	6校	3人	3～8日	14時間00分	4時間40分/人
10月	6校	2人	2～4日	10時間30分	5時間15分/人
計				43時間45分	3時間20分/人

〔取組状況〕

- ・学校の授業(料理、ミシン等)に係るボランティア募集の打合せ。
- ・ボランティア募集に係る文書作成や、ボランティアへの依頼・連絡調整等、学校支援の補助。
- ・市内小・中学校への地域コーディネーターの配置を目指したが、全校配置には至っていない。
- ・各校への地域コーディネーターの配置が今年度からであり、地域コーディネーターが中心となって企画する取組などは、来年度以降になる見込み。

〔今後の取組〕

- ・人材確保、そのための周知、事業の理解を得ることが課題となっている。

【生涯学習課】7月から配置

	配置人数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
7月	1人	1人	1日	4時間00分	4時間00分/人
8月	1人	1人	2日	6時間00分	6時間00分/人
9月	1人	1人	1日	2時間00分	2時間00分/人
10月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
計				12時間00分	3時間00分/人

〔取組状況〕

- ・図書支援活動地域ボランティアの活動時間の調整を行った。
- ・図書支援活動地域ボランティア配置校における図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ及び消耗品の選定を行い、発注した。
- ・図書支援活動地域ボランティア研修会に係る講師との打合せを行った。

[今後の取組]

- ・引き続き、図書支援活動地域ボランティアの活動時間の調整を行う。
- ・後期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ及び消耗品の選定を行い、発注する。

地域ボランティア：13人

① 図書支援活動地域ボランティア：12校に11人配置

配置校：盛小1人、大船渡小2人、赤崎小2人、猪川小4人、立根小1人、
大船渡北小4人、越喜来小2人、吉浜小1人、第一中4人、大船渡中4人、
末崎中3人、東朋中2人

※ 複数校兼務するボランティアがいるため、総数と異なる

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	11校	8人	1～6日	95時間30分	11時間56分/人
5月	12校	10人	1～8日	184時間00分	18時間24分/人
6月	12校	9人	3～11日	227時間00分	25時間13分/人
7月	12校	10人	1～16日	272時間15分	27時間14分/人
8月	12校	11人	1～11日	193時間00分	17時間33分/人
9月	12校	11人	1～11日	228時間00分	20時間43分/人
10月	12校	10人	1～12日	224時間45分	22時間28分/人
計				1414時間30分	20時間28分/人

② 金管支援活動地域ボランティア（盛小2人配置）

	配置校数	活動人数	活動日数	合計活動時間	月平均活動時間
4月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
5月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
6月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
7月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
8月	1校	0人	0日	0時間00分	0時間00分/人
9月	1校	2人	4日	5時間15分	2時間37分/人
10月	1校	2人	3～4日	4時間45分	2時間22分/人
計				10時間00分	5時間00分/人

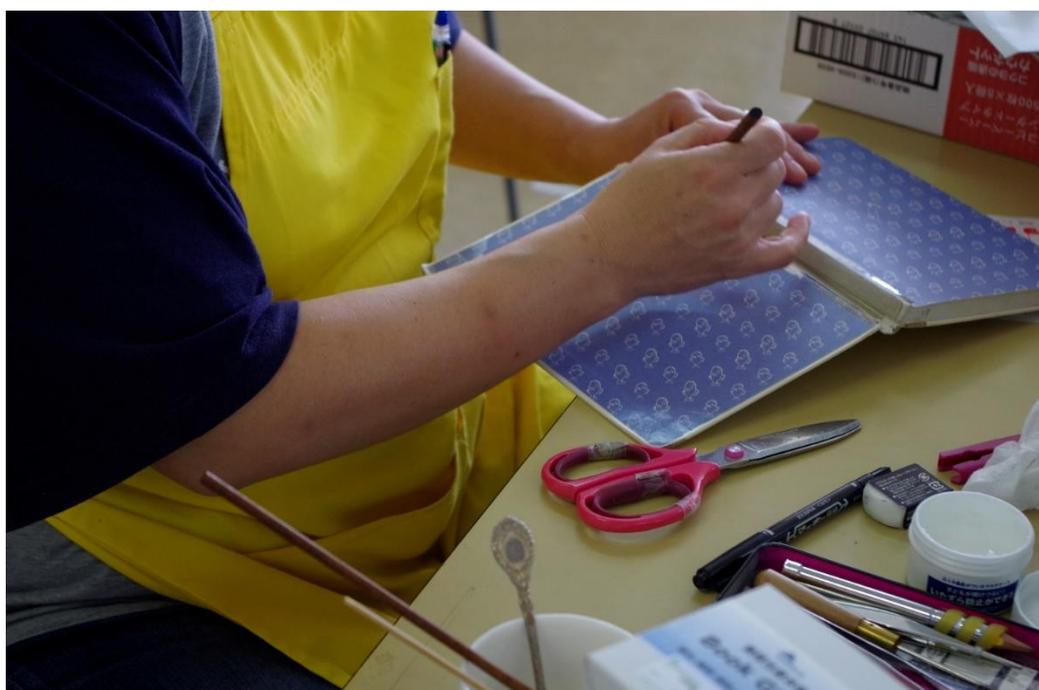
[取組状況]

- ・図書の修繕、図書室の環境整備を実施。
- ・地域コーディネーターからの紹介もあり、図書支援活動地域ボランティアの配置希望があった学校に配置することができた。

[今後の取組]

- ・ 図書支援活動地域ボランティア研修会を、11月21日(月)に大船渡北小学校で開催する。
 - ・ 研修会の受講者を対象にアンケート調査を実施する。
- ※ 研修内容の満足度、今後の活動に生かせるか等

図書ボランティア(猪川小学校)



図書の修繕の様子



左：修繕前の図書

右：修繕後の図書



図書の修繕の他に、本の配架や、図書室に置く本の選定を行うことも

令和4年度大船渡市地域学校協働本部事業
図書支援活動地域ボランティア研修会開催要項

1 趣 旨

大船渡市の地域学校協働本部事業実施にあたり、図書支援活動地域ボランティアが専門知識を学ぶことにより、学校支援活動の充実を図る。

2 主 催 大船渡市

3 日 時 令和4年11月21日(月) 午後1時30分～午後3時30分

4 場 所 大船渡市立大船渡北小学校 図書室

5 参加対象者 図書支援活動地域ボランティア登録者、各学校図書担当教諭

6 日 程

13:00 受付開始

13:30 開会行事

13:35 講演及び実演

15:30 閉会

7 講演及び実演

(1) テーマ 「児童・生徒に学校図書室へ足を運んでもらう方法について」

(2) 内 容 ① 来たくなる図書室づくり ― 広報、企画展示 ―

② 使いやすい図書室づくり ― 分類区分、サイン、導線、配置 ―

8 講 師 大船渡市立図書館 司書 中井 佳織 氏

9 持 ち 物

(1) 筆記用具

(2) 各学校の図書室の現状写真等(講師に質問がある場合)

10 申 込 み 11月14日(月)までに、参加申込書を下記申込先へ提出。

11 そ の 他

マスクの着用や手指消毒等、感染症対策に理解いただき、体調のすぐれない場合は、参加を見送っていただくよう協力願います。

12 問い合わせ・申込先

大船渡市協働まちづくり部生涯学習課 生涯学習係 松田

〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢 15

TEL 0192-27-3111 (内線 277)

E-mail 007364@city.ofunato.iwate.jp ファクス 0192-27-8878

令和4年度地域学校協働本部事業

スクールガード・地域コーディネーター・地域ボランティア配置状況一覧

【令和4年10月31日現在】

(単位：人)

学校名	スクールガード	地域コーディネーター	図書支援ボランティア	金管指導ボランティア	備考
盛小学校	6	-	1	2	金管指導ボランティア2人謝金辞退
大船渡小学校	4	-	2	-	
末崎小学校	3	1	-	-	スクールガード1人謝金辞退
赤崎小学校	2	1	2	-	
猪川小学校	1	-	4	-	
立根小学校	2	1	1	-	
日頃市小学校	1	1	-	-	
大船渡北小学校	4	-	4	-	
綾里小学校	3	-	-	-	
越喜来小学校	-	-	2	-	図書支援ボランティア1人謝金辞退
吉浜小学校	7	1	1	-	スクールガード1人謝金辞退
第一中学校	-	-	4	-	
大船渡中学校	3	-	4	-	
末崎中学校	-	-	3	-	
東朋中学校	-	1	2	-	
生涯学習課	-	1	-	-	
合計	36	7	30	2	

※ 地域コーディネーター及び図書支援活動地域ボランティアは、複数校掛け持ちの方もいるため、延べ人数となります。

※ 地域コーディネーター登録人数：5人

※ 図書支援活動ボランティア登録人数：11人

大船渡市学校運営協議会の状況について

大船渡市教育委員会事務局学校教育課

大船渡市におけるコミュニティ・スクールの現状

令和4年度より、市内小中学校に学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施することで、地域と連携した学校づくりを目指している。

学校運営協議会委員は各校15人以内とし、令和4年度は全15校で198人が委嘱を受けている。

令和4年度は、年度当初に第1回学校運営協議会を開催し、委嘱状交付のほか、学校の運営方針について協議を行い、年度内に概ね3回程度協議会を開催することとしている。

学校運営協議会を設置するにあたり、各校から、

- ・適任者を探し出すのが大変
- ・そもそも何を協議すればいいか悩む

などといった問合せを受けた。運営協議会委員は特別な役職ではなく、これまでの学校運営において関わってきた地域の方々に委員として協力してもらうこと、地域学校協働活動は新しい活動を考えるのではなく、最初は既存の活動、できる活動から始め、運営協議会を通じて徐々に活動の幅を広げていくことが重要であることを伝えた。

市内における地域学校協働活動の例

○川探検（立根小学校）

総合の学習として、立根川の川探検を行い、準備段階より地域住民により河川敷の草刈りを行い、当日の水生生物調査の支援、安全の見守りを行った。

○マラソン大会（盛小学校）

盛町中央通り商店街をコースとして校内マラソン大会を開催し、運営協議会を通じた周知により、地域住民による会場準備、児童の安全確保を行い、当日は地域住民による温かい応援をいただいた。

○ホタテの耳吊り体験（吉浜小学校）

地域の養殖漁業者を講師に迎え、漁港作業場で地域住民の指導を受けながら地域の漁業であるホタテ養殖の耳吊り作業を体験した。

このほかにも、地域の保存会を講師に迎えた郷土芸能指導や、ICT知識を持つ住民によるタブレット学習時のサポート、家庭科におけるミシン操作補助など、様々な活動を行っている。

川探検



マラソン大会



ホタテの耳吊り



学校運営協議会を設置し、地域と学校の連携を強化するにあたり、各校から、

- ・学校周辺の美化活動等に使用した消耗品費
- ・地域学校協働活動を実施する際の保険

などについて相談を受けた。地域学校協働活動に係る費用については、学校が地域にこれをやってほしい、このような活動をしたい、といった場合のように、学校が把握している活動については、活動費に係る一部補助が受けられ、保険の対象となることと回答した。

学校運営委員会の設置による成果と課題

学校運営協議会を設置した結果、様々な立場の方に委員として入っていただいたことで、多角的な視点で学校への意見を聞くことができた。また、地域の実態に応じた対応をすることで、地域の人材の活用ができた。

学校と地域の橋渡しを行う地域コーディネーターについては、現在15校中6校が配置しており、今後の学校運営協議会において熟議されることで、人材が掘り起されることが見込まれる。